養護と教育が一体となった保育の言語化

研修用ワークブック

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育士会

全国保育士会倫理綱領

すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく無限の可能性を持っています。

私たちは、子どもが現在(いま)を幸せに生活し、未来(あす)を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもの育ちを支えます。
私たちは、保護者の子育てを支えます。
私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくります。

（子どもの最善の利益の尊重）

１．私たちは、一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通してその福祉を積極的に増進するよう努めます。

（子どもの発達保障）

２．私たちは、養護と教育が一体となった保育を通して、一人ひとりの子どもが心身ともに健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、生きる喜びと力を育むことを基本として、その健やかな育ちを支えます。

（保護者との協力）

３．私たちは、子どもと保護者のおかれた状況や意向を受けとめ、保護者とより良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支えます。

（プライバシーの保護）

４．私たちは、一人ひとりのプライバシーを保護するため、保育を通して知り得た個人の情報や秘密を守ります。

（チームワークと自己評価）

５．私たちは、職場におけるチームワークや、関係する他の専門機関との連携を大切にします。

また、自らの行う保育について、常に子どもの視点に立って自己評価を行い、保育の質の向上を図ります。

（利用者の代弁）

６．私たちは、日々の保育や子育て支援の活動を通して子どものニーズを受けとめ、子どもの立場に立ってそれを代弁します。

また、子育てをしているすべての保護者のニーズを受けとめ、それを代弁していくことも重要な役割と考え、行動します。

（地域の子育て支援）

７．私たちは、地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、そのネットワークにより、地域で子どもを育てる環境づくりに努めます。

（専門職としての責務）

８．私たちは、研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たします。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育協議会
全国保育士会

はじめに

保育に対する社会的な関心が高まり、保育の意味が問われている昨今、全国保育士会では、保育とはなにかを論理的かつ具体的に表現（言語化）し、保護者や地域社会へ発信することにより、社会全体からの保育に対する理解促進を目的として、平成 27 年 8 月に、「保育の言語化等検討特別委員会」を立ち上げました。

委員会での検討結果は、平成 28 年 6 月に、報告書「養護と教育が一体となった保育の言語化～保育に対する理解の促進と、さらなる保育の質向上に向けて～」としてとりまとめました。

今般、その報告書をもとに、特に、実務経験のない養成校の学生や、保育について理解が浅い新人保育士（入職～ 2 年目程度を主に想定）を対象に、具体的な場面から保育を理解し、自身の保育観を醸成いただくことを目的としたツールとして、研修用ワークブックを作成いたしました。

本ワークブックのご活用により、保育関係者一人ひとりが自身の保育を見つめなおし、いっそうの専門性・質の向上につながることを願っています。

社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国保育士会

目次

はじめに、目次、ワークブックの使い方 ―― 1
事例 1　おはよう！ ―― 2
事例 2　どろんこ遊び ―― 4
事例 3　いやだっ！ ―― 6
事例 4　おむつ交換 ―― 8
自分の保育を言語化してみよう！ ―― 10
養護と教育が一体となった保育とは？ ―― 12
各事例の解説（事例 1 ～ 4 について） ―― 12

ワークブックの使い方

- 本ワークブックには、平成 28 年 6 月にとりまとめた報告書より 4 つの事例を抜粋し、掲載しています。
- 4 つの事例それぞれの左ページには、場面をあらわす写真を掲載しています。場面の様子を読み取って、右ページに記載の 3 つの設問について考えてみましょう。参考として、各事例の解説を、12 ページに掲載していますので、あわせてご覧ください。
- さらに、10 ページ「自分の保育を言語化してみよう！」では、自らの保育実践事例を自由に入れ込むことができます。身の回りのさまざまな保育場面を切りとり、自身の保育を見つめなおす機会としてご活用ください。

事例１　おはよう！

写真左から、保護者、子ども、保育者

場　面

朝、２歳４ヵ月のＡちゃんが、母親と一緒に登園し、保育者とあいさつを交わしました。保育者に受け入れられて、靴と靴下を脱ぎ、靴下を靴の中にしまっています。

考えてみよう！

1. この場面や写真から読み取れる、子どもの様子（発言）や思いめぐらせていることは何でしょうか。写真の子どもの吹き出しにコメントを入れてみましょう。

2. この場面において、保育者はどのような意図（声かけ）をもってかかわっているでしょうか。

3. 2 による保育者のかかわりが、子どもにとってどのような成長、育ちにつながるでしょうか。

事例２　どろんこ遊び

場　面

　どろんこ遊びでみんな走り回っているなか、花壇沿いのフェンスのところで２歳児と３歳児の三人が何かに集中しているのを見つけました。そこには「ミミズ」がいました。

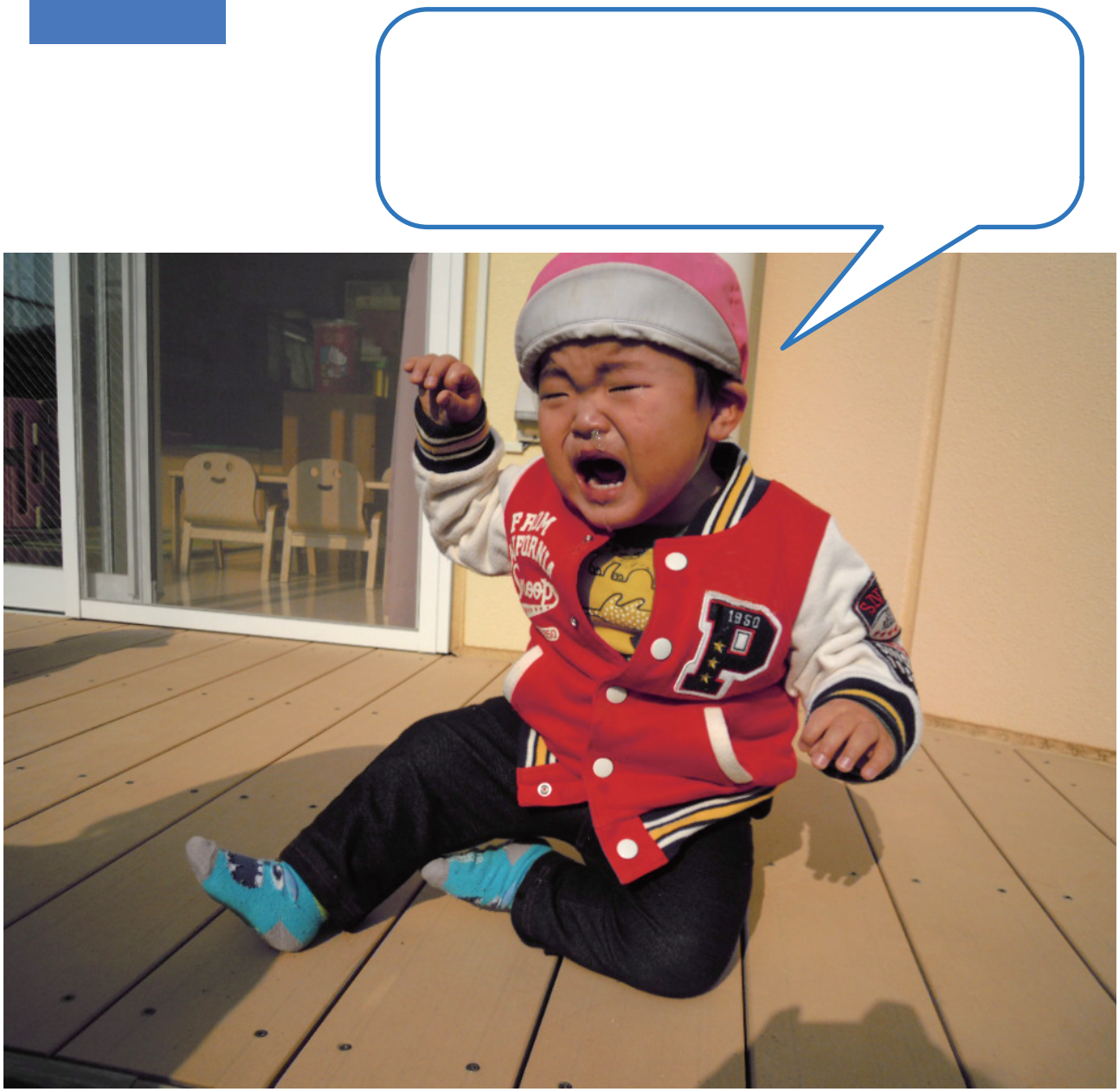
考えてみよう！

1. この場面や写真から読み取れる、子どもの様子（発言）や思いめぐらせていることは何でしょうか。写真の子どもの吹き出しにコメントを入れてみましょう。

2. この場面において、保育者はどのような意図（声かけ）をもってかかわっているでしょうか。

3. 2 による保育者のかかわりが、子どもにとってどのような成長、育ちにつながるでしょうか。

事例３　いやだっ！



場　面

　入所して、３ヵ月に満たないＡくん（1 歳 5 ヵ月）。園庭が大好きで、元気いっぱい遊んでいます。
　ランチの時間になりましたが、いっこうに部屋に戻ってきません。そこで「Ａくーん」と保育者がよびかけました。すると、とっとこ逃げ出したので、保育者が抱き上げ、部屋に向かおうとすると、大泣きするのです。

考えてみよう！

1. この場面や写真から読み取れる、子どもの様子（発言）や思いめぐらせていることは何でしょうか。写真の子どもの吹き出しにコメントを入れてみましょう。

2. この場面において、保育者はどのような意図（声かけ）をもってかかわっているでしょうか。

3. 2 による保育者のかかわりが、子どもにとってどのような成長、育ちにつながるでしょうか。

事例４　おむつ交換

場　面

給食後のおむつ交換の場面。０歳児（11 ヵ月）の A くん。おむつを外すと、開放感からか手足をバタバタと動かしています。

考えてみよう！

1. この場面や写真から読み取れる、子どもの様子（発言）や思いめぐらせていることは何でしょうか。写真の子どもの吹き出しにコメントを入れてみましょう。

2. この場面において、保育者はどのような意図（声かけ）をもってかかわっているでしょうか。

3. 2 による保育者のかかわりが、子どもにとってどのような成長、育ちにつながるでしょうか。

自分の保育を言語化してみよう！

タイトル「　　」

場 面

考えてみよう！

1. この場面や写真から読み取れる、子どもの様子（発言）や思いめぐらせていることは何でしょうか。写真の子どもの吹き出しにコメントを入れてみましょう。

2. この場面において、保育者はどのような意図（声かけ）をもってかかわっているでしょうか。

3. 2 による保育者のかかわりが、子どもにとってどのような成長、育ちにつながるでしょうか。

養護と教育が一体となった保育とは？

保育における「養護」とは、子どもが心身ともに心地よいと感じる環境を整え、子ども自身が主体的に育つことをたすける営みです。「教育」は、知識を伝える・教えることだけでなく、「感じる・探る・気づく」といった子どもの興味・関心を引き出すことであるといえます。

子どもは、周囲に働きかけ、さまざまな経験を通して学習する自発的な存在です。

“養護と教育が一体となって営まれる”ということは、子どもが落ち着いて、安心・安全に過ごせる場所や環境づくりに配慮しながらも（養護的側面）、子どもの主体的な経験を通して、感情の動き、人との関係、道具の使い方、達成感、自我（自分らしさ）の育ち、態度の育ち、言葉の覚え、運動能力の獲得などを育むこと（教育的側面）を支える表裏一体のかかわりなのです。

保育者の専門性と保育の個別計画

“養護と教育が一体となった保育”は、日々の保育において、保育者が子どもへのかかわりの意図を十分に理解したうえで、計画的に行われるものです。

保育の個別計画は、保育者が養護と教育が一体となって展開される保育を十分理解したうえで作成されるもの、すなわち、保育者の専門性が形となって反映されたものであるともいえます。

保育者は、子ども一人ひとりの育ちの状況に応じて作成した計画のもと、日々変化する環境や、子どもの気持ちに寄り添い、専門性に裏打ちされた根拠のもとで保育を実践するとともに、PDCA サイクルによって自身の保育を振り返り、よりよい保育の質の向上につなげるといった一連のプロセスに基づいて、日々の保育を実践する必要があります。保育の言語化を考えることは、なにげない普段の子どもの行動一つ一つに、育ちや発達、明確な保育の目標をもってかかわる保育者の高い専門性を考えることでもあるのです。

各事例の解説

※下表左列の番号は、各事例の設問番号と符合しています。
解説は報告書「養護と教育が一体となった保育の言語化～保育に対する理解の促進と、さらなる保育の質向上に向けて～」より抜粋しています。

事例 1　おはよう！（2、3 ページ）

1	「靴下、自分でしまえるよ」
2	子どもや母親がかがんでいるのに合わせて保育者もかがみ、笑顔を交わしながら、子どもの後ろからそっと支えつつ、子どもが靴や靴下を脱ぐ援助をしています。子どもが自分の呼吸で行動できるよう、子どものペースに合わせ、ゆっくりと接しています。 また、後ろから支えるとともに、子どもの体を触り、体の様子を観察しています。体温チェックが自然な形でできるので、異常にも気づけます。
3	・子どもの意欲をそこなわないよう、発達に合わせた援助や、ちょっとした見守り方をすることにより「〇〇ができる、できた」という経験を重ね、自信につながっていきます。 ・保護者と保育者の快いあいさつの繰り返しや、行動をそっと見守ることで、人とのかかわりに安心感を覚えます。 ・快く一日の始まり受け入れてもらえることに喜びを感じ、肯定的に一日をスタートできます。

事例2 どろんこ遊び（4、5ページ）

1	「これ、なに？さわったら、かまれるよ」 「動いてる～。かまれないよ。ほら、みてみて。」
2	どろんこ遊びは心も身体も解放してくれ、情緒の安定に優れていると思います。そのうえ、新たな生き物への出会いは、子どもの社会性や想像力、創造性、言語力、自然への関心などを引き出します。 今回は、感触のみならず、生き物への関心、また、それを観察する力を養う機会となりました。そこでともに話し合い、思いを共有する中で自己肯定感を持つことにつながっていってほしいと思います。
3	・自然には、生き物がたくさんいて、命ある物への優しさが育ちます。 ・いろんな生き物と共存している楽しさを知ることができます。 ・ともに話し合い、思いを共有するなかで、他者とのコミュニケーションや、想像力、自己肯定感を持てるようになります。

事例3 いやだっ！（6、7ページ）

1	「いやー！！！」
2	泣いているのは、抱き上げられて、靴を脱がされたからです。自分から納得して戻ったわけではないのです。でも、食事の時間は大切なので無理強いしてしまいました。 ※後日、「もうすぐ、ごはんのじかんだよ」と言って、さんざん追いかけっこを楽しむと、すんなり部屋に戻ってきたのです。徐々に次の動作にうつすことで納得することができました。次の行動に見通しが立たず、不安だったのでしょう。
3	・次の予定を示すことで、時間と行動に見通しが立ち、落ち着いて行動することができます（情緒の安定）。 ・見通しが立つことで、主体的に行動を組み立てることができるようになります。

事例4 おむつ交換（8、9ページ）

1	「スッキリ。キレイになったよ」
2	おむつ交換をしながら、「気持ちよくなったね」、「キレイにしようね」と声かけを行い、子どもの気持ちをくんで、共感することで、情緒の安定や保育者とのコミュニケーションをはかっています。 担当する保育者のかかわりによって、排泄のリズムや便の様子の違いがわかり、体調の異変に気づけるようにしています。また、身体に触れることで体温の変化を確認したり、湿疹の有無を確認したり、健康状態も把握することができます。 おむつを外した際に、ニコッと笑ったり、手足をバタバタと動かしたりしていることから、Aくんは、快や不快といった認識が少しずつ出てきているのではないだろうかと考えています。
3	・清潔が保たれるだけでなく、生理的欲求が満たされることにより、満足感や喜びを味わっています。 ・おむつ交換のたびに、保育者が言葉をかけていくことによって、言語理解につながっています。 ・自分の欲求を表現する力が培われています。 ・おむつ交換の際に言葉をかけていくことが安心につながり、心地よさを感じられるようになっています。 ・おむつ交換後に交換台の消毒を行い、保育者も石鹸で手洗いを行ってから子どもに触れることで、感染症を予防して健康に過ごすことができます。

報告書冊子のご案内

取り上げた 4 つの事例は、全国保育士会にてとりまとめた報告書から抜粋しています。
報告書にはこの 4 事例を含む、30 の事例が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

「養護と教育が一体となった保育の言語化
～保育に対する理解の促進と、さらなる保育の質向上に向けて～」

体裁：A4 判、93 ページ
価格：400 円（税込、送料別）

※購入申込み用紙は本会ホームページに掲載しています。
※報告書冊子の全文（PDF）は、本会ホームページより無料でダウンロードいただけます。

「養護と教育が一体となった保育の言語化」研修用ワークブック

発　行：平成 29 年 2 月
定　価：1,000 円（10 冊セット／税込・送料別）

発行者：社会福祉法人全国社会福祉協議会　全国保育士会
〒100-8980
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
社会福祉法人全国社会福祉協議会　児童福祉部内
TEL. 03-3581-6503 ／ FAX. 03-3581-6509
E-mail　hoikushikai@shakyo.or.jp
ホームページ　http://www.z-hoikushikai.com

全国保育士会ホームページへリンクします。

※本ワークブックの全文（PDF）は、本会ホームページより無料でダウンロードいただけます。

都道府県
指定都市 名：

所属（学校名）：

役職（学　年）：

氏　　名：